

風

かぜ カゼ

2000. 5. 15発行 NO. 21

◇永代経のご法話に聞く

安楽寺永代経のご講師は昨年引き続き竹岡郁芳師にお願いし、浄土真宗の尊いおみのりのお取次ぎをしていただきました。

私たちは如来さまの願いの中に生かされているのですが、それに気づかず私の願い（我欲）を満たすことのみを生き甲斐としていますが、仏に遇うことによるのみ、真に生きることが何であるかが知らされる。浄土真宗のみ教えを肌で味わって下さい。と、お諭しいただきました。

◇旅は帰る処が目的地

今年は特に連休が半端でなく長期にわたりました。あちこちへ旅行されたことでしょう。新緑の大自然との出会い、土地の人との出遇い、語らい、宿での料理、風呂等々は楽しい貴重な一駒です、しかしそれは帰る家を持つ者だから言えることで、放浪だけの旅に徹したら空しさだけが残るかもしれません。

私の人生の還るところの確保、そんなことも真剣に考えたいことです。

◇はがき通信「風」はコピーします

何人かの人に尋ねられました。のこしておいたつもりだったけど、No が無いので…お気軽に申し出てください。版下を保管してありますので喜んでコピーさせていただきます。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

往生の「生」は
生まれるというほかに
生きる
という意味がある
曾我量深